



どんげねえ〜

高千穂町国民健康保険病院通信

第2号広報誌

H24. 6. 30

発行: 院内広報委員会

私たちは以下の基本理念の下、地域医療のため粉骨砕身努力します。

【病院基本理念】

—地域住民に信頼され安全で質の高い医療の提供を目指します—

院長挨拶

広報誌をご覧の皆様、平成24年4月1日付けで病院長に就任した箕田誠司(みたせいじ)と申します。熊本生まれの熊本育ちで54歳です。熊本大学医学部消化器外科、馬場秀夫教授のご推挙により、本院の院長を拝命いただきましたが、約30年の長きにわたり、病院の発展に多大な御貢献をなされました柴田和哉先生の後任ということもあり、責任の大きさ・重さに身が引き締まる思いです。

私の経歴をご紹介します。昭和58年に熊本大学医学部を卒業し、熊大第2外科に入局、昭和58年5月から熊大病院で1年間の初期研修を皮切りに、北九州の九州厚生年金病院心臓外科、荒尾市民病院外科で研修した後、昭和60年に熊大大学院に進学して研究生を送り、平成元年に医学博士を修得しました。その後、臨床に戻り、平成4年から国立療養所熊本南病院外科、福岡大学病院第2外科助手として肺癌を中心とした呼吸器外科を研修しました。平成8年から熊大病院第2外科助手となり、乳癌、甲状腺癌、肺癌、食道癌の外科診療にたずさわりました。そして平成13年4月から今年の3月までは11年間にわたり済生会熊本病院で乳癌、胃癌、大腸・直腸癌の手術治療や腹腔鏡手術を修行し、平成21年からは外科副部長を務めました。

この度、院長となった私に課せられた使命は、町立病院をさらに発展をさせるために変革することであると考えております。現在、過疎地域である当病院の置かれた社会環境は厳しいものがあります。医師の確保や経営も次第に難しくなっています。地域住民が安心して治療が受けられる病院がなくてはなりません。そのためには、安心・安全で良質な医療の提供がなされ、信頼されることが不可欠です。他に行く病院がないから、あるいは遠いから仕方なくかかる病院であってはなりません。

町立病院がさらに信頼される病院となるための対策として以下のことを実行します。

第一には医療の質の向上です。そのために、医師の診断能力向上や看護師・薬剤師・検査技師、医事職員の仕事力人材育成プログラムなどの勉強会の開催も活発化させたいと考えております。もちろん医師や医療スタッフの安定確保にはこれまで以上に地道に努力してまいります。

第二に救急医療の充実が必要です。現在の少ない医師数やスタッフで救急を充実するためには工夫が必要です。特に当院で完結出来ない部分は、遠隔画像診断システム導入や病・病連携ネットワークの強化やその整備を推し進めて、患者様を迅速に適切に不安なく、連携病院へアクセスできるようにしなければなりません。また、特に夜間救急には医師や看護師、薬剤師や検査技師などの体力や気力の充実が必要で、疲弊しては継続できません。そこで、お互いの役割を補完しあうチーム医療の推進や診療に関する資格が必要でない業務は医療秘書や看護助手、事務職員に委譲し、専門職が本来の診療に専念出来るような業務の効率化が必要です。

第三に患者満足度を上げるために、外来待ち時間対策や病棟などの院内環境の改善に努めます。また、患者様だけでなく、職員満足度にも配慮した職場環境づくりに努めます。

第四に病院の将来構想の検討が必要で、診療科目、診療内容や病床機能の見直し、病院規模を今後どうしていくのか、予防医学の充実や介護施設を併設するのかなど、住民の皆様や役場とも相談しながら計画を立ててまいります。その他にも救急医療におけるコンビニ受診や高齢化社会における老人医療問題、終末期医療の在り方など、住民の方々にも積極的に議論に参加していただく機会を作りたいと考えています。

しかし、なんといっても地域の皆様が安心して暮らせるように、病院職員一人一人が患者様のために、自分の役割を考えて、行動することが重要なのは言うまでもありません。職員一同さらなる町立病院の発展に全力を注ぐ所存ですので、今後ともよろしくお願い致します。



高千穂町国民健康保険病院

院長 箕田 誠司

リハビリ室が広くなりました！

平成23年5月に増築工事が完了し、リハビリテーション室が広くなりました（少し ^_^;）。以前のリハビリ室は車いすがすれ違うのも窮屈さを感じていましたが、今では、歩行練習を行うスペースも広くなり、より安全に運動していただけるようになりました。また、「見晴らしが良くなったね〜」と患者様にも評判です。



↑リハビリ室の拡張した部分はこんな感じです。

カメラ前処置室ができました！

平成24年1月にカメラ室の前に新たに「カメラ前処置室」ができました。ここは胃カメラなどを受ける前に患者様に待機していただく部屋で、喉や鼻への麻酔処置などを行います。今まで薄暗いカメラ室内で検査を待っていた患者様からも「リラックスして検査に臨めるようになって良かった」との声をいただいています。



↑室内には常に音楽が流れています。

「終末期医療を考える会」を紹介します！

高千穂町国民健康保険病院では「終末期医療を考える会」という会を興梠知子副院長を中心に院内職員有志で立ち上げ、積極的に活動をしています。院内外を問わず、幅広く活動していくことが重要ではないかと思えます。今後も随時活動の状況等報告していきます！

「終末期医療を考える会」ご紹介①

病院で治療が終わって退院する時に、自宅に帰ることが難しく施設に入所せざるを得なくなる方、近くの施設に入れず遠く県外の施設に行かざるを得ない方が近年増えてきました。人生の最期を迎える時になって、長年住み慣れた地をやむなく離れて行かれるご本人、そしてその選択を余儀なくされるご家族のお気持ちに接するたびに、何とか改善できる方法はないものか、という思いが募っておりました。

そこで、2011年7月7日に病院の有志で「終末期医療を考える会」を立ち上げ、院内外の方々に参加を呼びかけたところ、高千穂、日之影の各方面の方々に参加して頂き、おかげさまで今年6月で13回目となりました。

活動の内容を紹介すると、以下の2つです。

- 1) 判断能力が無くなったり、意思表示ができなくなったときに、自分の最期の迎え方について、事前に表明しておく「生前の意思表示（リビングウィル）」の作成と運用。
- 2) 長年暮らした地域で最期を迎えられるために、どんな対策を立てればよいのか、検討し、提案を発信していく。また、自分たちでできることはやっていく。

1) は既に運用しております。時期を見て、もっと広報が必要か、と考えています。

2) は只今検討中で、今年6月までに講演会を3回、話し合いを10回持ちました。今年中にまとめたいと考えているところです。前号でお伝えした森先生の講演会も活動の一環でした。

次回から活動の具体的内容について、連載でお伝えしたいと思います。

【部署紹介】

第2号広報誌では、眼科外来、小児科科外来の2つの部署を紹介します！



【眼科外来】



人間は外部からの情報の80パーセント以上を視覚から得ていると言われています。眼科は、この視覚を得る器官である「目」を専門とする診療科です。

当院眼科は、医師1名、視能訓練士2名で外来診療にあたっています。また、西臼杵郡唯一の眼科であり広範囲から患者様に来院いただいています。

年齢とともに、白内障・緑内障などの多様な目の病気が起こりやすくなります。また、目に悪影響を起こす高血圧・動脈硬化・糖尿病などの生活習慣病も多くなります。字が読みづらい・かすんで見えるなどの症状がある方は、眼科を受診してみられることをお勧めします。

患者様の視的生活の満足度を維持・向上していけるようスタッフ一同努力して参ります。



【小児科外来】



医師1名、看護師1名で担当しています。

発熱などの急性疾患が多いという小児科の特性から、午後3:20~4:30の受付時間を設定しています。午前と午後の患者数は平均してほぼ同数です。午後の患者数が多い時には、他科の看護師等の協力も得て時間内に終わるように努力していますが、時間外になると十分な検査や処置ができないこともありますので、できるだけ早い時間に受診されることをお願いします。

予防接種と乳幼児健診も小児科の仕事ですが、それは主に保健センターで行っております。ただし、個別の予防接種は院内で随時受け付けており、診療時間内でも可能ですが、病児と接触することを避けたい方には、個別に時間を指定しております。その場合は、事前に電話での予約が必要です。また、公費補助のない予防接種は、前もってワクチンの予約が必要ですが、数日でご用意できます。不登校や心身症、発達障害等のご相談にも応じておりますが、ゆっくり時間をとる必要があるため、予約制としております。

夜間の救急受診が多いのも小児科の特徴ですが、発熱しても水分摂取ができて、活気があれば、翌朝の受診で構わないことも多いので、冷静な判断をお願いしたいところです。なお、電話でのお問い合わせは当直看護師と医師が対応しますので、ご心配な時は、お問い合わせください。



「旬」で豆知識！！

日に日に暑さも増してきましたねえ〜…
夏バテでダウンしないように体調管理には留意しましょう。

さて、今回の旬食材は「鮎」です。
県北では鮎やかな等がこれからの時期の風物詩でもありますよね。

鮎の栄養素、知って得する情報満載です！

鮎



旬は香りかつよい初夏から夏です。
ビタミンAや、豊富な鉄分を含み貧血予防にも役立ちます。脂部分にはEPA, DHAという成分を含み、コレステロールの低下作用や、脳の活性化も期待できます。また、カルシウムも豊富で、その吸収を助けるビタミンDも豊富です。ビタミンDは内臓に多く含まれますので、ぜひ、内臓ごと召し上がってみてください！

【病院からのお知らせ】

※休診日・夜間の出入り口について

防犯対策のため、夜間（午後6時～翌朝8時）と土日祝日（年末年始を含む終日）の院内への出入口を正面玄関の1ヶ所のみとさせていただきます。

また、深夜など正面玄関も閉まっている時間帯に御用の方は、玄関脇の夜間受付ボタンにて警備員までご連絡ください。

※院内での携帯電話の使用について

病院内で携帯電話を使用する場所は以下の通りです。

- ・1階ロビーの公衆電話付近。
- ・3階・4階の食堂前。

それ以外の場所では医療機器の動作に影響を与えたり、他の患者様のご迷惑になる恐れがありますので携帯電話の使用をご遠慮下さい。

※入歯にもお名前を！

入院して、自分で入歯の手入れができなくなられた方には、職員が対応しておりますが、時に、入歯が行方不明になることがあります。

いざという時のために、入歯にも名前を入れてもらうように、歯医者さんをお願いして頂くようお願いいたします。ご協力をお願いします。

【週間担当医のご案内】



| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 内科1 | 赤谷 由佳 | 赤谷 由佳 | 赤谷 由佳 | 赤谷 由佳 | 赤谷 由佳 |
| 内科2 | - | 非常勤医師 | 非常勤医師 | 非常勤医師 | 非常勤医師 |
| 内科3 | 押方 慎弥 | 押方 慎弥 | 押方 慎弥 | 押方 慎弥 | 押方 慎弥 |
| 内科新患 | - | - | 非常勤医師 | 非常勤医師 | - |
| 外科 | 箕田 誠司 | 秋月 英治 | 箕田 誠司 | 桑原 暢宏 | 秋月 英治 |
| 整形外科1 | 塩月 康弘 | 塩月 康弘 | 塩月 康弘 | 塩月 康弘 | 塩月 康弘 |
| 整形外科2 | 福島 克彦 | 福島 克彦 | 福島 克彦 | 福島 克彦 | 福島 克彦 |
| 泌尿器科 | 熊大病院医師 | - | 熊大病院医師 | - | - |
| 眼科 | 後藤 信祐 | 後藤 信祐 | - | 後藤 信祐 | 後藤 信祐 |
| 小児科 | 興梠 知子 | 興梠 知子 | 興梠 知子 | 興梠 知子 | 興梠 知子 |
| 循環器科 | - | 済生会医師 | - | - | 済生会医師 |
| 耳鼻咽喉科 | - | 熊大病院医師 | - | - | - |
| 皮膚科 | 熊大病院医師 | - | 熊大病院医師 | - | 熊大病院医師 |



※受付時間は、月～金、午前7：30～午前11：30、午後15：20～16：30（小児科のみ）までとなっておりますが、急患の場合は、休日、時間外でも受け付けております。

※都合により担当医は予約なく変更になる場合がございますのでご了承ください。

※学会、研修等への出席、その他都合により、休診、医師1名での対応となる場合がございます。その際には、防災無線でご案内いたしておりますのでお間違えのないようお願いいたします。



クーラーのつけっぱなし、多量の発汗等により体調を崩しやすい時期です。就寝時や運動後のケアを徹底し、体調管理に留意しましょう。

【高千穂町国民健康保険病院】

〒882-1101

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井435-1

TEL: 0982-73-1700

FAX: 0982-73-1710